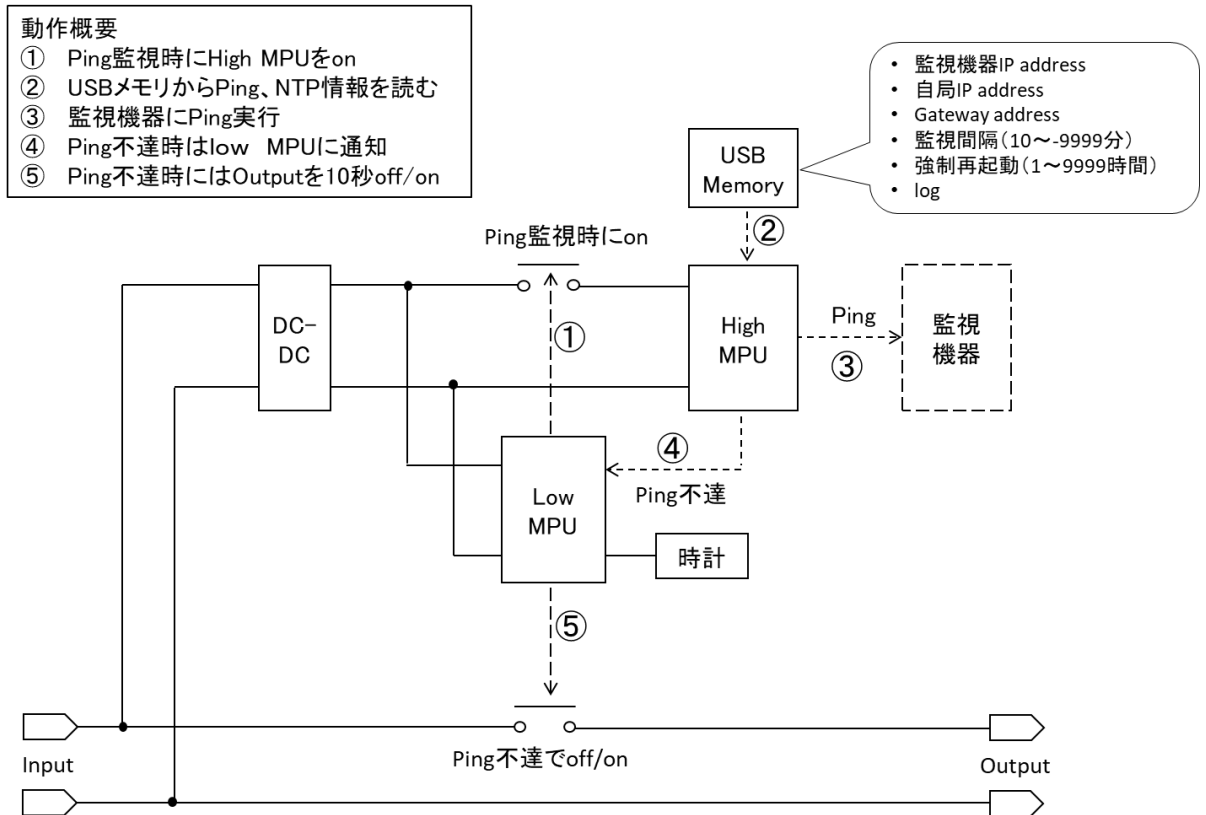


死活監視装置

取扱説明書



1. システム構成図



- (ア) Low MPU は低消費電力で常時起動
 (イ) High MPU は高機能で Ping 監視時のみ起動
 (ウ) USB Memory に諸条件を書き込む (config.ini)
 (エ) Ping や強制起動の Log を USB Memory に書き込む

2. 機能概要

(ア) 直流電源制御

- ① 入力電圧範囲 7-28V
- ② 最大許容電流 2A

(イ) 死活監視装置の電子機器が壊れても出力は確保

- ① リレーの B 接点使用

(ウ) 低消費電力

- ① 制御電源 入力電源駆動
- ② 待機時 12v 4mA
- ③ 監視時 12V 100mA~210mA

(エ) PING 不達監視

- ① PING 不達で OUTPUT を 10 秒間遮断
- (オ) 強制遮断
 - ① OUTPUT を 10 秒間遮断
- (カ) NTP 同期
 - ① 1 日以上経過後の監視タイミングで NTP 同期
 - ② カレンダーバックアップ電池内蔵
 - ③ オフラインで使用時は月差 30 秒程度の誤差
- (キ) 筐体内の温度測定
- (ク) 外部 USB にて監視条件設定
- (ケ) 外部 USB に LOG 記録

3. 外部インターフェース

- (ア) 入出力端子台 M3-4 極
- (イ) RJ45
- (ウ) USB

4. LED 表示

- (ア) STATUS 青色 LED
 - ① 1 秒の点滅は待機中
電源遮断可能
 - ② 連続点灯は監視中
USB メモリー書込み中のため電源遮断禁止
 - ③ 0.2 秒の点滅はエラー発生
故障原因除去の上電源再投入で復帰
- (イ) INPUT 電源 白色 LED
- (ウ) OUTPUT 電源 白色 LED

5. 外部 USB メモリー

- (ア) ディレクトリ
 - +config.ini 設定ファイル
 - +config-sample.ini 設定ファイル sample
 - +NTPsinc.txt NTP 同期完了時刻 (unix time)
 - +log log ディレクトリ
 - +201909.log
 - +201910.log
 - +死活監視装置.pdf

(イ) config.ini の内容 (例)

```
[IPAddress]
# 全項目記入してください。
local= 192.168.2.97
netmask = 255.255.255.0
gateway = 192.168.2.1
dns = 192.168.2.1
ping = 8.8.8.8
ntp = ntp.nict.jp
```

```
[interval]
# ping 監視間隔(分) 0:(無監視) 10~9999
ping = 10
# 強制再起動(時間) 0:(無監視) 1~9999
force = 1
```

(ウ) NTPsinc.txt の内容

- ① NTP 同期完了時刻 (unix time) ---自動書き込み
- ② 0 で強制同期開始 (NTP サーバーに接続できる場合)
- ③ NTP にアクセスしない場合は、1893423600 を書き込みます。日付け表記は 2030/01/01 00:00:00 の unixtime です。

(エ) Log の内容

```
201909.log -----月ごとに集計し、永久保存
2019/09/05 21:53 29.00c ping OK      NTP
2019/09/05 21:56 29.00c ping OK
2019/09/05 22:01 29.00c ping OK force
2019/09/05 22:06 28.75c ping OK
```

6. 外形

(ア) 寸法	163 x 113 x 65 mm
(イ) フランジ足	147 x 85 mm
(ウ) 重さ	400g

7. 使用環境

(ア) 温度 0~40℃

(イ) 湿度 20~85% (ただし結露なきこと)

8. 注意事項

(ア) NTP サーバーがない所で使用する場合

- ① USB メモリーの NTPsinc.txt の値を 0 にし、NTP サーバーのある環境で起動する。
- ② 1 分以内に NTP サーバーと接続し、時刻を同期します。
- ③ 時計を正確にしてから使用します。

(イ) USB メモリーを本体から抜く場合

- ① STATUS LED が連続点灯していない時、入力電源を落とす。
- ② USB メモリーの内容の確認や変更をする。
- ③ USB メモリーを本体に差し込む。
- ④ 入力電源を接続する。

(ウ) USB メモリーの Log を確認

- ① 監視の動作は USB メモリーで確認します。

(エ) USB メモリーを新たに作る場合

- ① NTFS で format します。
- ② config.ini と NTPsinc.txt は、UTF-8 で (BOM なし) で作成します。